

### 救急医療センター パート看護婦 (士) 募集

☎ 保健女性センター 64-8991

業務内容 土・日曜日、祝日、年末年始 (昼・夜) の看護業務  
勤務場所 救急医療センター  
対象 看護婦 (士) または准看護婦 (士) の資格を持っている50歳ぐらいまでの人  
申し込み 3月8日までに電話で富士市救急医療協会へ  
☎51-0099

### ぜんそく児 水泳教室生徒募集

☎ 保健女性センター 64-8991

とき 4月～9月の水曜日 18:00～20:00 全18回  
ところ 温水プール  
対象 平成2年4月2日～平成9年4月1日に生まれた、市内在住の気管支ぜんそくの児童 (主治医の診断書と保護者の送迎・見学が必要)  
定員 80人 (多数の場合は抽せん)  
申し込み 2月28日までに、はがきに郵便番号、住所、参加児童名、生年月日、電話番号、保護者名、ぜんそく児水泳教室と書いて、〒416-8558 保健女性センター管理担当へ

### 介護をしている人の リフレッシュ講座

☎ 保健女性センター 64-8993

とき ● 3月4日 (月) 13:30～15:30  
● 3月11日 (月) 13:30～15:30  
● 3月18日 (月) または25日 (月) 13:30～ (個別相談)  
ところ 保健女性センター  
定員 20人 (多数の場合は抽せん)  
受講料 無料  
申し込み 2月22日までに電話で保健女性センターへ

### フィランセ臨時職員募集

☎ 保健女性センター 64-8991

(仮称) 総合福祉センター「フィランセ」の福祉相談員を募集します。  
雇用期間 4月1日から1年間  
勤務先 フィランセ内福祉相談室  
勤務時間 月～金曜日 8:30～17:00  
業務内容 福祉全般に関する相談業務  
応募資格 福祉に対して熱意があり、パソコン操作ができ、普通自動車免許を有する人  
※福祉関係の資格があれば望ましい。  
募集人員 2人 (予定)  
申し込み 3月8日までに、履歴書を直接または郵送で 〒416-8558 保健女性センター管理担当へ

### 産休・育休明けによる 児童の保育園入園予約

☎ 児童福祉課 55-2762

産後休暇、育児休業を受ける人を対象に、その休暇が明けて平成14年度中に職場復帰するとき、家庭で保育できない児童の入園予約を受け付けます。  
受付期間 3月1日 (金)～8日 (金)  
受付場所 市役所3階児童福祉課  
持ち物 保育所入所申込書・就労証明書 (児童福祉課、各保育園で配布)、母子手帳の写しなど

### ぜんそく講演会

☎ 保健女性センター 64-8991

とき 2月23日 (土) 13:30～16:00  
ところ 保健女性センター  
テーマ 慢性喘息の自己管理  
講師 坂本芳雄さん (埼玉医科大学第二内科助教授)  
受講料 無料  
申し込み 2月19日までに電話で保健女性センターへ

### 児童手当振り込みのお知らせ

児童手当の2月期 (10月～1月分) を2月8日に受給者の口座に振り込みます。ご確認ください。

☎ 児童福祉課 55-2763

### 日曜納税相談

～市役所～

### ★国民健康保険税の納付について

2月24日 (日) 9:00～16:00

☎ 国民健康保険課 55-2753

ダイヤル施設案内 ☎52-1111

ダイヤルお出かけ情報 ☎53-1111

### 環境シリーズ No. ④3

### 2月は省エネルギー月間です

2月は「省エネルギー月間」ということを知っていましたか。

冬場は、暖房のため、灯油やガスなどの使用量が多くなります。

家庭におけるエネルギー需要は冬場にピークとなります。特に寒さの厳しい2月を「省エネルギー月間」として、「資源とエネルギーを大切にす運動本部 (現:省エネルギー・省資源対策推進会議)」の決定を受けて、昭和52年2月以来、毎年実施しています。

皆さんも省エネルギーに努めてみましょう。

### 日常生活を見直してみませんか

- ①暖房の温度は20℃以下に設定しましょう。
- ②不必要な暖房はやめましょう。
- ③入浴や洗顔のときなどは水を流しっ放しにするのをやめましょう。
- ④不必要なテレビのつけっ放しはやめましょう。
- ⑤電気製品の主電源は入れっ放しにせず、小まめに消しましょう。
- ⑥冷蔵庫、洗濯機、掃除機などの電化製品を効率的に使用しましょう。
- ⑦人がいないところの照明は、できるだけ消しましょう。
- ⑧白熱電球のついているところは、蛍光灯につけかえましょう。
- ⑨近くへ出かけるときは、自動車を

使わずに、徒歩や自転車の使用を心がけましょう。

- ⑩停車中の自動車のエンジンはとめましょう。
- ⑪買い物のときは、不必要なものまで購入しないで、必要な分だけ購入しましょう。
- ⑫買い物のときは、過剰な包装はやめてもらうようにしましょう。

県では、2月13日に、県女性総合センター「あざれあ」6階大ホールにおいて、SF作家の豊田有恒さんを招いて、「省資源・省エネルギーを考える県民のつどい」を開催します。参加申込書は環境保全課にあります。

問い合わせ ☎ 環境保全課 55-2776